

エールック株式会社

一般型

設備投資

皮革新型ミシンの導入による製造工程の改善及び高機能素材の縫製技術の構築

皮革製品(主にハンドバック)製造において、新型マシン導入により、品質をさらに高め、工程の改善(少量、多品種、短納期対応)及び効率化を行う。それとともに洗練された機能性の高い顧客ニーズを捉えた独自のブランド製品(オリーブレザーの仕様)の確立を図った。

Q 取組の背景

Background of efforts

弊社は約40年前から、創業時から事業の主軸であった手袋製造技術を活かしつつ、ハンドバッグへとシフトしてきた。10年前には販売会社を設立し、自社ブランド(L I M E)を立ち上げた。また、当時に東かがわ市の手袋製造企業が中国などアジアでの海外生産へシフトしていたなか、弊社は、小ロット多品種に対応でき、独自性を出せる純国産での生産にこだわっている。

こうした結果、「L I M E」は、国内産でリーズナブルなブランドとして、ようやく営業利益が安定するようになった。しかし、ここ数年、販売促進中心の事業展開をはかっていたため、製造工程等の改革ができず、人材も機械類も老朽化し、生産数量が上がらず機会ロスをしているのが現状である。具体的には、以下の個別課題が挙げられる。

1) コンピューターマシン等の生産設備が老朽のため、故障が多い。故障からの復旧には数時間から1日かかるため納期遅れを招いている。また、従来のマシンでは従来の1.5mm以上の厚さの革を縫製するのは困難である。

2) 現在のポストマシンではポストの高さが低い。そのため大きなカバンの場合は縫いづらく、作業効率が悪く、新型マシンに比べて10%以上時間が掛かる。また、無理をして縫っているため不良品が出易く(不良品1%くらい)ブランド製品生産には致命的である。また、社員も力を入れて縫製しているため、商品を持っている手が疲れやすく、大きなストレスを感じている。

3) 将来当社の販売戦略の柱となる「オリーブレザー」は少し粘りがあるため従来の平マシンでは高品質な商品の生産や効率性を高めることが期待できない。

4) 最新式のマシンは従来機に比べて約25%の省エネタイプであるが、当社所有のマシンは省力化されていない。

R 事業の実施内容

Implementation content

上記の課題を解決するべく、ハイポストマシン、コンピューターマシン、新型平マシン自動糸きりを導入した。



【図1】今回導入したハイポストマシン

R 事業の成果

Achievement

○ハイポストマシン

カバンなどの立体縫製に使うが、難工程に対応するハイポストヘッドのため従来のマシンでは縫製できない底縫やマチ縫工程に対応できるようになった。これにより、作業効率も上がった。また、消費電力が1割ほど減った。

○コンピューターマシン

縫製箇所をパソコンで入力できるので、未経験者でも使用できる。生産性が向上しただけでなく、少々の段差も縫い目がきれいに縫えるため、ふくらみのある手元の細かな縫製部分の段差にも対応できる。消費電力を約10%削減できた。

○新型平マシン自動糸きり

従来のマシンより動力性が高く、作業効率が向上した。自社ブランド「WOGNA」で使用するオリーブレザーは従来の皮革と比べ少し粘りがあるため縫製するのが難しいが、新型マシンは動力性が強く針目がきれいに縫えるため、マシン目などの細部へのこだわりを実現できるようになった。



【図2】商品写真

R 今後の展望

Future prospects

設備機械等の老朽化により生産数量が上がらなかったため、全国小売店及びネット販売からの多くの受注に対応できず、機会ロスをしていた現状を改善することができた。このことにより、生産効率をアップすれば問題解決し、売り上げに反映することが期待できる。

今後の事業展開を以下のとおり実施し、売り上げ向上を図りたい。

○新ブランド「WOGNA」によるブランディング戦略【WOGNAとは】

弊社所在地である白鳥地区の由来と言われているヤマトタケルの幼少名「ヲグナ」から命名した当社オリジナルブランド。LIME より一格上質のブランドとして、素材や機能性にこだわりをもつアッパーミドル層を対象としている。県の名産品でもあるオリーブオイルを皮革の製造段階で使用し、上品な手触りと柔らかな感触が特徴の「オリーブレザー」を主要素材とし、シンプルで機能性の高い、気の利いた作りが特長。

オリーブレザーとは、弊社と兵庫県の皮革メーカーが共同で開発したオリジナル素材である。皮革製造時に柔軟性を与える「加脂」工程と表面の仕上げ工程において、小豆島のエキストラバージンオリーブオイルを使用することで、皮革の香りがフルーティーで控えめな艶があり、しっとりした手触り、皮革製造時や商品廃棄後にも環境に負荷を与えないエコロジーな点などが特徴である。オリーブレザーは少し粘りがあるため動力性の強いマシンの方が縫いやすく、新型平マシンは縫う力も強く、針目がとてもきれいであるため、マシン目など細部へのこだわりを実現するためには、今回導入できた設備あってこそである。

COMPANY PROFILE



エールック株式会社

所在地

〒769-2602
香川県東かがわ市川東823

TEL

0879-25-1133

設立

1954年4月

代表者

長田 祐治

業種

袋物製造業

従業員数

45名

URL

http://a-look.jp

事業内容

皮革、その他素材を使用したバッグ類・小物類の製造・卸販売



代表取締役 長田 祐治

ヨーロッパの高級ブランドに負けないブランドづくりをめざして。

弊社がある香川県東かがわ市は、126年の歴史を持つ手袋産業が集積しており、世界一の手袋加工技術(皮革という加工が難しい素材を、手・指を使い複雑な立体造形物に仕上げる裁断、縫製技術)を有しています。弊社も、約80年前に手袋の製造を開始しましたが、当時の手袋は、売れる時期が冬場だけであり、暖冬などの自然条件に大きく左右されるリスクが大きい産業でした。それを打破すべく、約40年前からハンドバッグ等の製造に傾注し、独自性を出せる純国産にこだわって、小ロット多品種生産の体制を築いてまいりました。

このたびの補助事業により、販促中心に戦略を展開していたなか、手つかずであった製造工程の改革により着手することができ、たいへん感謝しております。弊社しか作れない価値ある商品を、これからも純国産にこだわって提供してまいります。